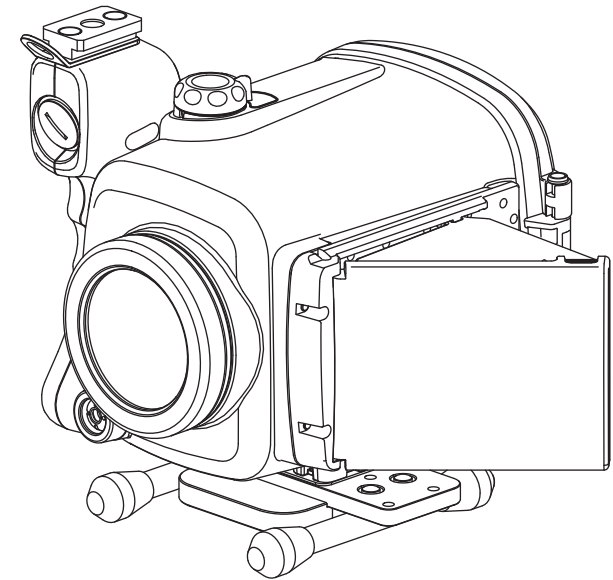
SEA&SEA

UNDERWATER HOUSING

07117 **VX-S1**

07118 **VX-S2**

取扱説明書

SEA&SEA

株式会社シー・アンド・シー
〒332-0016 埼玉県川口市幸町3-2-20
TEL.048-256-2251
http://www.seaandseaco. jp
カスタマーサービスセンター
TEL. 048-255-8512

0602-Z-01

VX-S1
VX-S2

この度はシーアンドシー製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

安全上のご注意............ 2
各部の名称............ 5
付属品............ 6
リモコングリップを取り付ける............ 6
ビデオカメラをハウジングにセットする............ 7
各部の操作............ 10
お手入れと保管上のご注意............ 13
仕様............ 14

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をお読みになり正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、取り扱いを誤った場合に、人や製品への危害や損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。
内容をよく理解してから製品を正しく安全にお使いください。

⚠警告：取り扱いを誤った場合、死亡または重症を負う可能性が想定されます。

⚠注意：取り扱いを誤った場合、ケガを負う可能性および物的損害の発生が想定されます。また、製品の品質･信頼性が損なわれる可能性が想定されます。

⚠警告

● 本製品を乳幼児の手の届くところに置かないこと。付属品や小さな部品などを誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

⚠注意

● ご使用の前に必ず本製品の取扱説明書をよく読んでからお使いください。
● 本製品を絶対に分解･加工･改造しないでください。浸水や故障の原因になります。分解･加工･改造品の浸水･破損等の保証はいたしかねます。修理や内部の点検は、ご購入の販売店にご相談ください。
● 煙が出たり、変な音やにおいがするときは、ただちに使用を中止し、ご購入の販売店にご相談ください。
● 万一、浸水が起きた場合は、ただちにスイッチを切り、すぐに使用を中止してください。
● 浸水しているときは、内部の圧力が高くなっていることがあります。バッテリー蓋や本体ケースを開けるときに水が吹き出したり、バッテリー蓋や本体ケースが跳ね上がったりすることがありますのでご注意ください。ケガの原因になります。

● 本製品は機密構造となっておりますので、密閉した状態で航空機などで運搬した場合内外の気圧差が生じることがあります。本体を密閉しない状態（リアケース・バッテリー蓋を外す、ポート類を外す、リアカバーを半開きの状態にする、など）で運搬してください。
● 水しぶきのかかるところ、湿気の多いところ、海岸など砂のつきやすいところでは、本製品の開閉をおこなわないでください。水滴落下・浸水などにより故障の原因になります。
● 強い電波や磁気の発生する場所では、正常に動作しなくなることがありますのでご注意ください。
● 飛行機内や病院内で使用するときは、航空会社・病院の指示に従ってください。本製品が出す電磁波などにより、計器に影響を及ぼす恐れがあります。
● 本製品を落としたり、振り回したり、撮影機材を持ったままボートから海に飛び込んだり、機材を海に投げ込むなど、強い衝撃を与えないでください。思わぬケガや破損・故障の原因となります。
● ストロボ・ライト・アクセサリー類は確実に固定し、落下・紛失などにご注意ください。また、必要以上に曲げたり、力を加えたりしないでください。思わぬケガや破損・故障の原因になります。
● 本製品の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。重量で本体が変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。また、浸水の原因にもなります。
● カメラをハウジングに入れて使用すると、ダイヤル・ギア等との摩擦により、カメラに傷がつく可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
● フロントポート・レンズなどのガラス面やフラッシュ・ファインダー窓に傷がつかないように十分にご注意ください。
● フロントポート・レンズなどのガラス面やフラッシュ・ファインダー窓は、傷がつかない柔らかい布などで水滴をよく拭き取ってください。水滴がついたまま放置しますと、シミ・ムラとなって残ってしまう恐れがあります。
● ご使用後は、防水されている状態で、必ず真水で洗ってください（詳しくは「お手入れと保管上のご注意」をご覧ください）。
● 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。

● 高温になるところに放置しないでください。特に炎天下や真夏の車内、車のトランクの中は異常に高温になりますので絶対に放置しないでください。本製品はプラスチックを一部使用しておりますので、熱で変形し内部部品が破損すると、火災・感電・故障などの恐れがあります。また、高温となる環境下に製品を密閉した状態で放置しますと、内部の圧力が上がり本体の変形や反り等が生じて、浸水の原因となったり、また結露を生じる場合があります。
● 水に濡れたところや湿気の多い場所で本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
● ナフタリンや樟脳の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
● 万一、本製品の不具合により撮影できなかった場合、撮影内容・撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
● 本製品のご使用上において、万一、お客様の取り扱い上の不注意による破損・損傷などが生じた際のカメラ・レンズ、その他のアクセサリー等の交換・補償はいたしかねます。
● 本書の記載内容の誤りなどについての補償はご容赦ください。
● 本製品は個人用、家庭用です。
● Oリングの取り扱いについては、Oリングメンテナンスマニュアルをご覧ください。

各部の名称

バッテリー蓋
送信窓
モードダイヤル
フード
ミラー
水中マイク
ウェイト
ミラーカバー
AVマルチケーブル
光ファイバーケーブル
リモコングリップ
リークセンサー
スライドベース
オーバープレッシャー
リリーフバルブ
リアカバー
ロックノブ

付属品

ワイドコンバージョン
レンズ

遮光フード

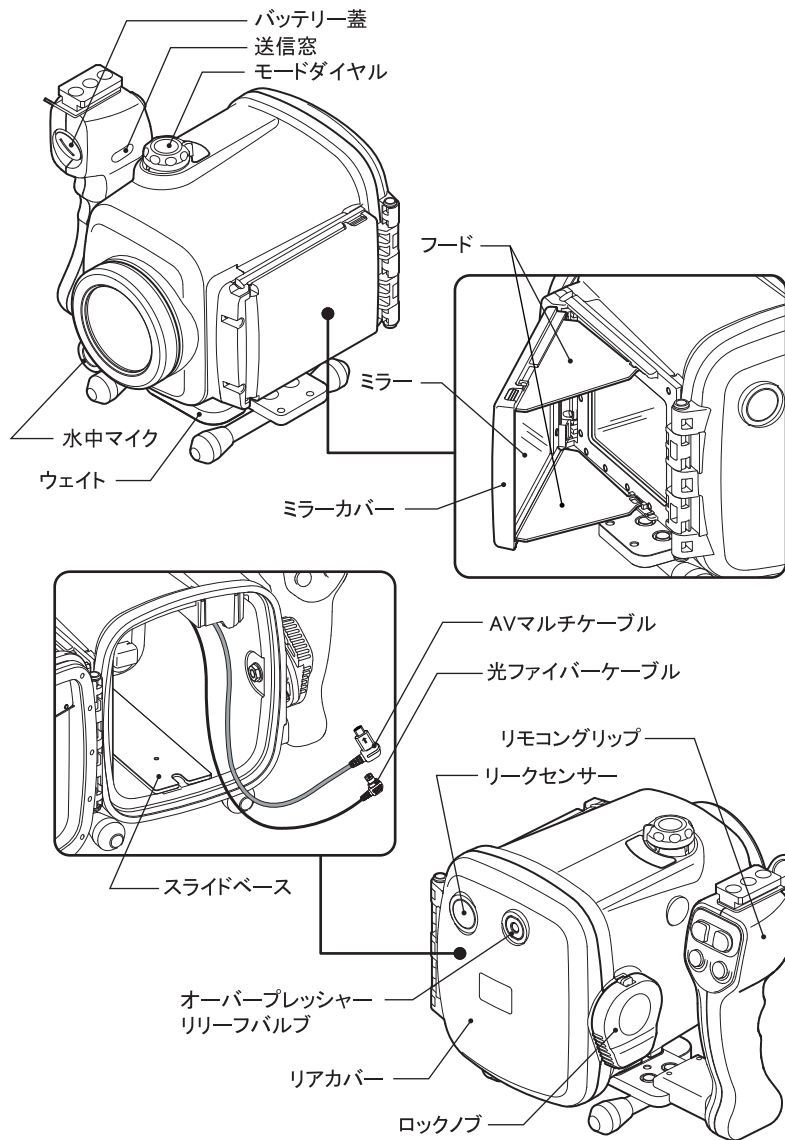
ステップアップ
リング

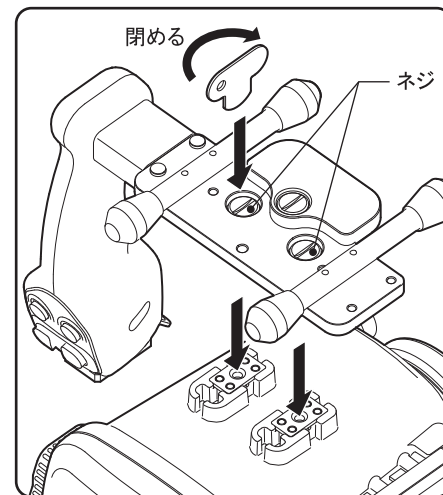
取付工具

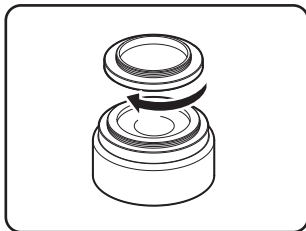
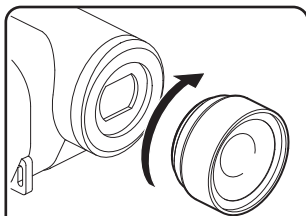
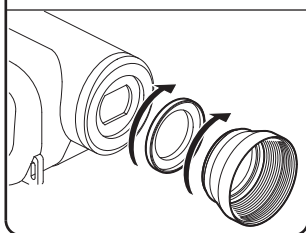
Oリング
リムーバー

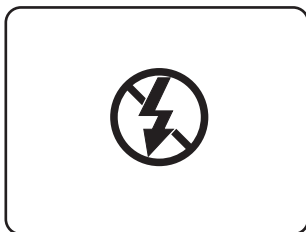
シリコングリス

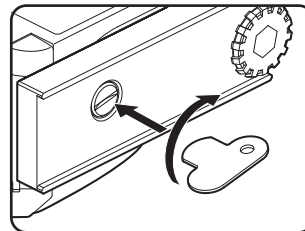
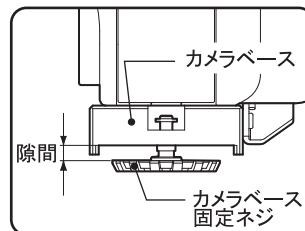
CR-2
リチウム電池

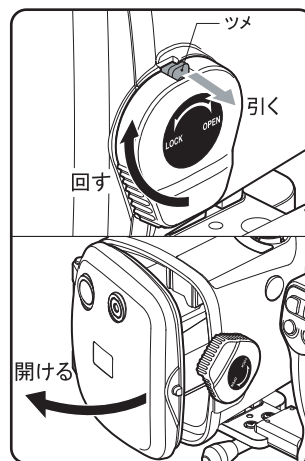
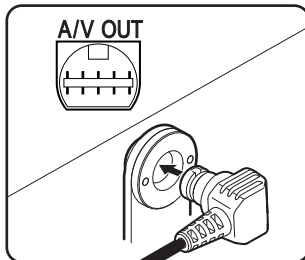
CR2032
リチウム電池

リモコングリップを取り付ける

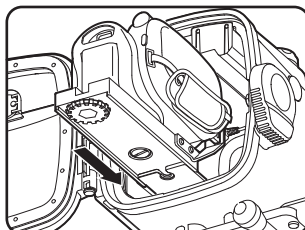
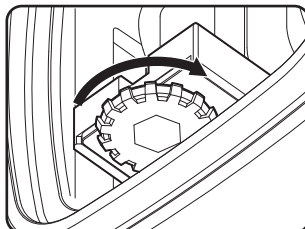
ハウジング底面の2箇所のネジ穴と、リモコングリップの2箇所のネジを合わせ取付工具（付属品）などで取り付ける。

ビデオカメラをハウジングにセットする

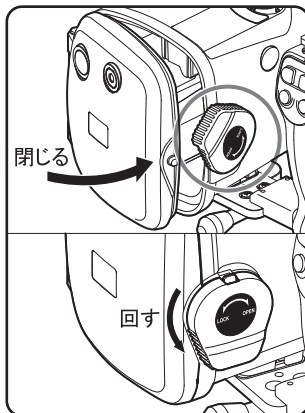
1. ワイドコンバージョンレンズにステップアップリングを取り付ける。

2. ステップアップリングのネジ部をビデオカメラに取り付ける。

●ワイドコンバージョンレンズを使用しない場合は、遮光フードを取り付ける。

3. ビデオカメラの内蔵フラッシュを発光禁止に設定する。

●発光禁止の設定方法は、ビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

4. 使用するビデオカメラに対応するカメラベース（オプション）をビデオカメラ下部の三脚穴に取付工具（付属品）などで取り付ける。

●カメラベースへのビデオカメラの取付方法については、カメラベースの取扱説明書をご覧ください。

5. カメラベース固定ネジを緩め、カメラベースとの間に隙間をあける。

6. ツメを引きながらロックノブを回し、リアカバーを開ける。

●ツメを引かずに無理にロックノブを回さないでください。破損・損傷の恐れがあります。

7. AVマルチケーブルをビデオカメラのA/V OUT端子に、光ファイバーケーブルをカメラベースにそれぞれ接続する。

●ビデオカメラのA/V OUT端子の位置は、カメラによって異なる場合があります。ケーブル類の取り付けの詳細は、お使いのカメラに対応するカメラベースの取扱説明書をご覧ください。

8. ハウジングのスライドベースにカメラベースを合わせ、前方にスライドさせる。

9. カメラベース固定ネジで固定する。

10. リアカバーを閉め、ロックノブをハウジング後方に、カチッと音がするまで回転させる。

● ケーブルを挟み込まないようにご注意ください。
● Oリングおよび Oリング溝や接触面に傷やへこみ・髪の毛などの異物がないことを確認してください。
● Oリングに付属のシリコングリスが薄く塗布してあることを確認してください。

各部の操作

《リモコングリップ》

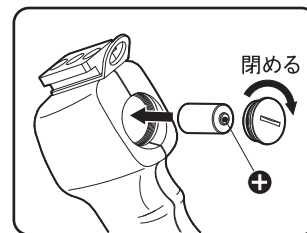
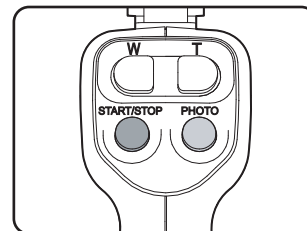
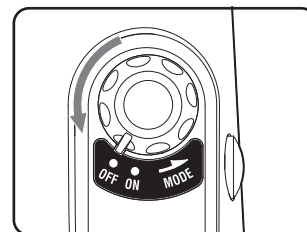
リモコングリップのバッテリー蓋を取付工具（付属品）などではずし、付属のリチウム電池CR-2を写真の向きで入れ、蓋を確実に閉めてください。リモコングリップのボタンを押して送信窓が赤く光れば使用可能です。

W/T................................ズームを操作します。

PHOTO..........................静止画を記録します。

START/STOP...........1回押すと動画撮影がスタートし、再び押とストップします。

● PHOTOボタンは、START/STOPボタンとの押し間違いを防ぐため、ボタンの突出量が低くなっています。
● PHOTOボタンは、動画撮影中でも操作できます。動画撮影中にPHOTOボタンを押して撮影された静止画は、専用のメモリカードに記録されます。

《モードダイヤル》

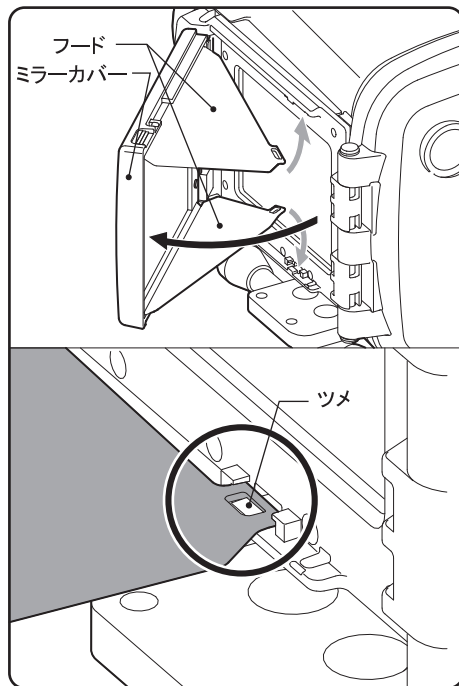
モードダイヤルを回すことで、ビデオカメラの電源スイッチの操作ができます。

● モードダイヤルの指標をON・OFFの位置で切り替えると、ビデオカメラの電源のON・OFFが切り替わります。
● モードダイヤルの指標を矢印の方向に回すと、ビデオカメラのモードが切り替ります（動画→静止画→編集→動画）。

※ 機種によっては、ビデオカメラに録画メディアが入っていない場合、編集モードにならない機種があります。
※ビデオカメラの電源スイッチの詳細は、カメラの取扱説明書をご覧ください。

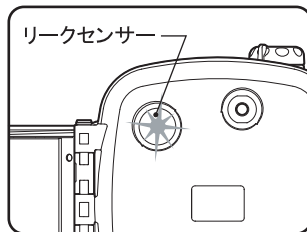
《ミラー》

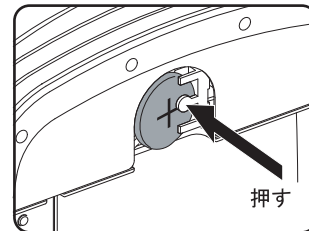
撮影中にビデオカメラの液晶画面を写して見ることができます。撮影の際はミラーカバーを引き出し、フードを起こしてツメにパチンと音がするまで確実にセットしてください。撮影後はフードを折りたたみ、ミラーカバーを閉めてください。

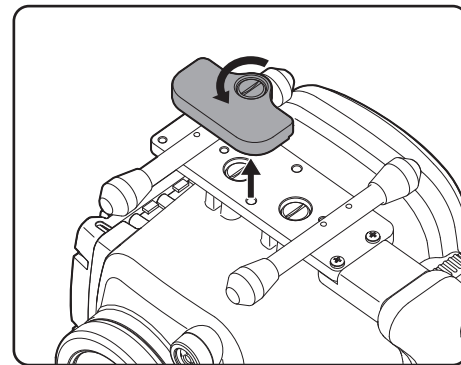
● ミラーカバーやフードに強い力や衝撃を加えたり、無理に動かさないでください。破損・損傷の恐れがあります。

● 陸上での移動時や撮影をしていないときは、ミラーカバーを閉めてください。ミラーが傷ついた場合、ビデオカメラの液晶画面が見にくくなる場合があります。

《リークセンサー》

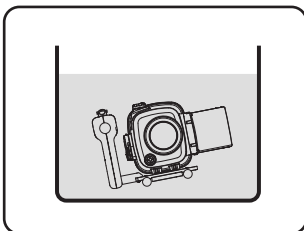
⚠ 注意

リークセンサーは水中での浸水を感知した場合に、赤色点滅します。リークセンサーが点滅した場合は、すぐにビデオカメラの電源を切り、使用を中止してから、安全が確保できる範囲内で速やかに浮上し、ビデオカメラを取り出してください。また、大量に浸水しますと内部の気圧が上昇し、大変危険です(浮上中にオーバープレッシャーリリーフバルブからエアーが出ている場合など)。ロックノブを外す際には十分注意してください。

● バッテリーの着脱

リアカバーに付属している電池はリークセンサー用の電池です。電池の交換の際にはCR2032をご使用ください。電池を外す場合は中央の丸い部分を強く押すと外れます。装着するときは、＋側を上(見える側)にして差し入れてください。

《ウェイト》

水中ライト等のアクセサリーを取り付けて使用するときは、ウェイトを取り外して水中重量を調整してください。

お手入れと保管上のご注意

● 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
● ご使用になった後は、必ず防水されている状態で、右図のように充分に真水につけてから流水で洗ってください。稼動部分(レバーやボタンなど)は動かしながら洗ってください。
● 充分に真水に浸けなかったり、流水で洗うだけでは塩分が残り、乾燥すると塩は結晶となり水に溶けにくくなります。本製品に付着した塩の結晶は非常に取れにくく、浸水の原因になることもありますので、必ず真水に充分に浸けてください。
● 水洗いした後は、乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、陰干しにして乾かしてください。
● 熱を発生する器具で強制的に乾燥させることは、変形や破損の原因となることがありますのでおやめください。
● 長期間ご使用にならないときは、高温・高湿、直射日光の当たる場所や、極寒になる場所を避けて保管してください。
● ナフタリンや樟脳の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
● ご使用になった後は、バッテリー/電池を取り出して保管してください。
● ご使用になった後は、カメラをハウジングから取り出してください。カメラを取り出すときは、ハウジングの水分をよく拭き取ってから、水滴が内部に落ちないように注意しておこなってください。もし内部に水滴が落ちたときはよく拭き取ってください。
● ご使用になった後は、Oリングのメンテナンスをしてから保管してください。ご使用の前後に必ずOリングの点検をし、早めの交換をおすすめします。
● 製品の性能を維持するために、お買い上げいただいてから2年間経ちましたら、もしくは長期間の保管の後にお使いになる場合には、オーバーホールにお出しになることをおすすめします。(有料)

仕様

■操作部
モードダイアル
リモコングリップ: ズームボタン(ワイド/テレ)
録画ボタン(スタート/ストップ)
静止画撮影ボタン

■作動表示
リークセンサー

■材質
本体:ポリカーボネート
リモコングリップ:耐腐蝕アルミダイキャスト

■最大寸法(幅×高さ×奥行)
VX-S1
236×187×225mm
(ミラー展開時:320×187×225mm)
VX-S2
236×187×235mm
(ミラー展開時:320×187×235mm)

■質量
VX-S1: 3,300g
VX-S2: 3,380g

■耐圧深度
60m

■付属品
ワイドコンバージョンレンズ・遮光フード・ステップアップリング・取付工具・Oリングリムーバー・シリコングリス・リチウム電池CR-2・リチウム電池CR2032

※仕様および外観などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

VX-G1用マクロレンズをご使用での撮影の注意

⚠注意

VX－G1用マクロレンズをご使用の場合、ビデオカメラのズーム設定をワイド(広角)側いっぱいで撮影しますと、画面の四隅にケラレが生じます。テレ（望遠）側に若干ズーミングして撮影してください。

For use of the Macro Lens for VX-G1

⚠CAUTION

When using the Macro Lens for VX-G1, vignetting (dimming) may appear in the four corners of the image due to the lens' optical characteristics. Slightly zoom out to telephoto to eliminate vignetting.

0602-Z-02